

- 【出席率】 会員58名中45名  
【先々週の出席率】 94. 64%  
【ヴィジター】  
三条北RCより 梨木建夫君 山上茂夫君  
三条RCより 五十嵐晋三君 斎藤弘文君
- 【先週のメイクアップ】  
9/5 高田RCへ 馬場信彦君 菫澤喜一郎君  
9/6 第4分区IM(吉田)へ  
吉井正孝君 鈴木圀彦君 荒澤威彦君  
飯山勝義君 大原義弘君 木原 崇君  
熊倉高志君 佐藤栄祐君 佐藤嘉男君  
鈴木 武君 田中悌司君 西巻克郎君  
菫澤喜一郎君 野崎正明君 長谷川晴生君  
馬場一敏君 広岡豊樹君 星野健司君  
丸山徹夫君 丸山征夫君 武藤昭三君  
吉田秀治君 渡邊久晃君 渡邊光郎君



## 会長挨拶

吉井 正孝 会長



こんにちは。  
今日は「残暑」を思わせる秋日和です。  
本日の例会には、三条北クラブから山上様、梨本様、そして、三条クラブから五十嵐様、斎藤様の4名のお客様、ようこそおいで下さいました。

さて先週の土曜日は、旧吉田町で第4分区のIMが開かれました。当クラブからも24名の会員にご出席頂きました。ご多忙の処、有難うございました。今回のIMのテーマ「わがクラブの活性化」について第4分区それぞれのクラブ会長が、「意見発表」を行う形式でした。詳しい内容につきましては、後程、4名の方々からご報告いただきます。

先週の3・4・5日の3日間、私はJR東日本の「大人の休日クラブ」で、再び北海道は「函館」まで行って来ました。函館「五稜郭」に魅力を感じて、この企画による函館訪問も今年で3年目になりました。JR東日本で行ける最北端が函館で、3日間12,000円。この間、特急・指定は乗り放題・・・。片道8時間、往復16時間の列車内「缶詰」が苦痛でなければ、ひとりこれ程ノンビリできる旅はありません。ゆっくり本を読んだり、落語のCDを聴いたり、居眠りしたり・・・。3本の特急を乗り継いで、またたく間に函館に着きます。私にとっては「至福」のひと時です。3回目ともなると、函館の地理も詳しくなっていて、移動は全て公共輸送機関。バスと市電で観光して回りました。秋風の吹く、涼しい函館を想像して行きましたが、30℃近い真夏を思わせる残暑厳しい「道南の旅」でした。旅行費用は、チケット・2日間の宿泊費・食事代、それに少しのお土産込みで、35,000円であげました。これまで、とにかく遠くへ・・・と3回、北海道まで来ましたが、これからは機会をつくって、「本土内」を廻ろうか・・・と、思い始めています。女房殿も、タマと一緒に連れてって欲しいのだそうです。



国際ロータリー会長 李 東 建 [韓 国]  
第2560地区ガバナー 馬 場 信 彦 [三 条 南]  
第4分区AG 古 井 辰 禧 [吉 田]  
会 長 吉 井 正 孝  
幹 事 鈴 木 圀 彦  
S A A 野 中 悟

事務局  
〒955-8666 三条市旭町2-5-10  
三条信用金庫本店内

☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095

E-maile info@sanjo-minami.jp

URL <http://www.sanjo-minami.jp>

ところで今日は、1951年（昭和26年）「サンフランシスコ講和条約」が締結された日です。連合国48カ国と日本の間で、この条約が結ばれた時の日本の全権代表は、あの吉田茂総理大臣でした。連合国51カ国の内、ソビエト、ポーランド、チェコスロバキアの3カ国は署名を拒否。その後、日米間ではあの「日米安全保障条約」締結へと、歴史は流れて行きます。いつもの今日の暦をお伝えして、本日のご挨拶と致します。

## 幹事報告

鈴木 圀彦 幹事

### ●馬場ガバナー事務所より

「2008～2009年度ロータリー財団地区補助金」活用についてのご案内

第2回補助金 締切日 2008年9月30日（火）

# BOX

～・ 9月 8日 23,000円 今年度累計 191,000円 ～

- 吉井君 9/6吉田で開催のIMへの多数のご出席に感謝申し上げます。私の都合で、三条到着後の「直会（なおり）」の設営をせず、気が利かず申し訳ありませんでした。以後、気をつけます。
- 鈴木（圀）君 本日は「クラブ・フォーラム」、9月6日のIMの報告会です。4名の担当の方よろしくお祈りします。
- 佐藤（栄）君 爽やかな秋晴れに！！ IMに出席して参りました。一言コメントをとのことです。
- 長谷川君 IMに参加して… 吉田RCが主管するIMに地区役員として参加させて頂き楽しく過ごして参りました。微笑ましい企画に拍手を贈りました。BOXに協力！
- 星野君 9/6のIMでは皆様にお世話になりました。
- 坪井君 今日ある人達から素晴らしいプレゼントをいただきました。
- 相田君 BOXに協力致します。担当の西巻さんご苦労さま！！
- 平松君 BOXに協力致します。都合により早退させていただきます。
- 渡邊（光）君、船久保君、野崎君、銅冶君、田中（悌）君、田代君、滝口君、佐藤（秀）君、佐々木君、坂本君、草野君、木原君、飯山君  
BOXに協力致します。
- 西巻君 ●今日は例会場に一番に来られた人にBOX担当を依頼の予定でしたが、一番が吉井会長でしたので、二番目の私に当番が回ってきました。  
●BOXご協力に感謝して

## CLUB FORUM.

### 『IM報告』

第4分区IM … 9月 6日（土） 13:30～18:30 会場：吉田町産業会館  
ホストクラブ：吉田ロータリークラブ

テーマ：「クラブ活性化をめざして」



# 基調講演 (総まとめ)

ゼネラルリーダー 中條 耕二 様  
(地区研修リーダー)

クラブ活性化を計るにはどうしたら良いか、ロータリークラブの永遠の課題であり、これと言った特効薬はなにもないのではないかと考えた方が良いでしょう。要は会員一人ひとりの知恵やアイデアを出し合い、実践し、活性化の方向を見出すこと、会員増強も例会運営も親睦活動も地域貢献等も会員一人ひとりの情勢とやる気を持つことが肝要と考える。

四大奉仕を強調しても物心両面の努力、みんなの奉仕がついてこなければならない。継続的な事業はロータリーでは否定的だが長期的な面から効果的な側面もあり、地域の活性化につながる。

特に今 水問題、青少年問題、環境面から考えることは検討に値するのではないかと いずれにしてもロータリーの奉仕活動は対外的なことやロータリーを生涯の学習の場と考える意味からも日々前進した活動としたい。後藤新平氏(元東京市長)の 自助 互助 自製の精神、民間で助け合い、民間で自制しながら活動することの意義を見直してみることもロータリーの活性化につながるのではないかと、要はただの親睦の集りでもない、ただの社会奉仕だけの場でもない。ロータリーが地域に根ざし 意義ある存在感をつくり出すことが今のロータリーに必要ではないだろうか。

「IM (新潟第4分区都市連合会)に参加して」

熊倉 高志 会員



IMとは何か。恥ずかしながら、それすらも良くわからずに出席することになりました。

「Inter City Meeting」日本語訳では都市連合会とのことだそうです。08、09年度の第4分区11のクラブが一同に会し、活動の現状報告を兼ねた親睦会のようなものと理解いたしました。

私の報告はその中のフォーラムについてお話ししたいと思います。

本年度のフォーラムのテーマは“わがクラブの活性化”と題し、11クラブの会長さんが活動内容をそれぞれ報告いたしました。

●三条クラブさんは青少年を対象とした活動を中心に、ローターアクトのメンバー減少についても対応を強化したいとのことでした。

- 燕クラブさんは会員の退会防止と例会出席率をあげるために、毎月1回の夜例会を開催したり、通常例会の食事の時間を多くとることを行っているそうです。
- 加茂クラブさんは女性の会長さんらしい発想で、夜例会に奥様ご自慢の手料理等を提供いただいて、一緒に楽しんでいただくポトラックパーティーを年2回実施。
- 分水クラブさんは会長幹事さんが前での食事ではなく、会員の輪の中に入っただけの食事をしたり、活動が似たような委員会をひとつにまとめたりと工夫されているとのことでした。
- 見附クラブさんもやはり、気のきいた例会にするための工夫として、美味しい食事や、得(徳)になった卓話等を取り入れたりしているとのこと。
- 三条北クラブさんは入会3年目くらいの会員にスポットをあてた組織づくりでの活性化。
- 巻クラブさんは各会員の人格を高めることでの会の前進をはかる。
- 田上あじさいクラブさんはシンボルであるあじさいの花を咲かせる運動を通しての取り組みの推進。
- 三条東クラブさんは新しいクラブらしいエネルギッシュな活動を続けられており、
- 最後に開催ホストクラブの吉田クラブさんも女性の会長さんで奥様方と女性会員との交流を深めたり、ひとりぼっちの会員に気を配ることも心がけているそうです。
- 当三条南クラブはPETS、地区協、40周年と更に地区大会へと向け、熱い運営を進めているとの吉井会長のお話し。

総じて、会員増強への取り組みとクラブの活性化がほとんどのクラブの同一課題のように思えたことと、女性会員の入会への取り組みがクラブ間での考え方の違いとして現れているように感じました。

「IMに参加して」

木原 崇 会員

今回のIMのテーマは、「わがクラブの活性化」でした。

先ず、中條ゼネラルリーダーから約1時間の基調講演をいただきましたが、相変わらずの名調子で、予定時間通りに終了しました。この講演の中で、気になった数字がありましたので皆様方にご披露申し上げますと、

- ①日本のロータリアンの割合は、人口1,000人に1人だそうです。これが三条では人口500人に1人である
- ②我が三条南クラブの平均年齢は63.1歳で、第4分区の中で最高齢である ということです。



続いて、11 クラブの会長から 5 分程度の活動報告がありましたが、これも与えられた時間内に発表されました。大半のクラブが従来からの継続活動の報告に終わり、新味のないものでしたが、女性会長を輩出している加茂クラブと吉田クラブは、女性らしいきめ細やかな活動を行っているように感じました。このような面からも、女性会員の確保が必要であるように思われます。

なお、プログラムの進行は、全体的に極めて順調に行われ、参加者からは好評であったように思われます。

これから行われる「地区大会」も今回のようにスムーズに進行されることを祈念して報告を終わります。

「IMを考える」

佐藤 嘉男 会員



少し違った角度から IM に参加して感じたことを報告させていただきます。

IM の目的は区内会員相互の親睦とロータリーの知識を広めることにあります。今回、吉田クラブがホストクラブとして丁寧な設営がなされていたと思いますが、ここ何年かの定番のプログラム、運営に少々疑問を持ちました。パストガバナーの基調講演、各クラブからの活動報告、そして懇親会とパターン化された第 4 分区の IM を見直す時がきたのではないかと感じさせられました。

他の分区と比較してみましても、登録料 10,000 円は高く、他は 8,000 円、7,000 円。そして、6,500 円位まで費用を切詰めることができないかと検討している分区もあり、費用をかけずとも親睦を深める方法はいくらかでもあると思います。

フォーラムにしましても、壇上の会長が述べる一方通行の内容でなく、パネルディスカッションや分科会などの IM の原点のあり方に戻るのもひとつの方法ではと考えます。

「IMに参加して」

佐藤 栄祐 会員



会議の内容につきましては 3 人の皆さんが全てご報告して下さいましたので、私は「思いもよらない」と感じた懇親会につきまして、報告させていただきます。

懇親会の料理について、大変に失礼なことですが、「きっと田舎料理、たいしたことはないだろう」と箸をつけましたが、これが見事なまでの嬉しい期待はずれ、一品一品が上品に味つけられ、丁寧な仕事が施された料理に感激致しました。

また、アトラクションの『塚原はる美 森田雅代の夕べ』二人が登場された時には、またまた大変に失礼なのですが、コロコロとどこまでも転がって行きそうなお姿に期待なく耳を傾けましたが、これがなんと素晴らしいソプラノとピアノの調べ、鳥肌が立つような感動を覚えました。「思いもよらない」懇親会の演出に、吉田クラブの細かな心配りを感じ、爽やかな気分で会を終えました。

IM参考資料

		年間平均出席率(%)	平均年齢	入会金	年会費			年間平均出席率(%)	平均年齢	入会金	年会費
2560地区	第1分区	85.3	56.0	28,889	204,222	第4分区	三条	88.65	60.7	40,000	250,000
	第2分区	85.8	60.0	38,888	236,222		燕	73.72	62.85	10,000	200,000
	第3分区	68.0	59.8	21,666	195,333		加茂	85.70	60.9	20,000	195,000
	第4分区	82.6	59.8	20,909	208,090		三条南	90.10	63.1	30,000	250,000
	第5分区	84.2	58.2	20,714	185,714		分水	81.48	57.4	20,000	180,000
	第6分区	82.8	59.7	22,500	179,166		見附	81.17	59	20,000	192,000
	第7分区	61.3	61.3	31,111	182,777		吉田	85.80	61.5	30,000	192,000
	地区平均	81.7	59.2	26,382	198,789	三条北	80.15	56	20,000	230,000	
						巻	73.80	60.7	20,000	180,000	
						田上あじさい	80.49	58	10,000	180,000	
						三条東	87.35	54.2	10,000	240,000	



# 月信

国際ロータリー第 2560 地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2560

2008-2009 年度 9月号 Vol.3



ガバナーメッセージ

## 新世代月間～若者から、ロータリーに感動と未来を！～



**9月は、新世代月間です。**ロータリーの奉仕の中で青少年プログラムは、青少年とロータリアンの心を動かし、ロータリーの未来を形成するに最も重要なプログラムです。

このプログラムは、若い参加者の人生を実り多い豊かなものへと変えるだけでなく、ロータリアンもプログラムにおける感動的な体験を通じて、ロータリーの未来が明るいものとなります。そのために、次世代を担う健全な若者の育成のために、新世代奉仕事業活動であるローターアクト、インターアクト、ライラや、青少年交換学生、親善奨学生、GSE など、多くの事業を複合的に展開していかなければなりません。今回、第 8 回 RYLA 研修が、9月 27 日（土）28 日（日）、「生きる～命」をテーマに、学生総合プラザ「STEP」にて開催されますので、この機会をお見逃しなくご参加お待ちしております。

なお、岩崎由三・地区新世代委員長は、私に会うたびに熱心に「地区新世代奉仕委員会の事業は、若者を育て、人生を豊かにするプログラムなのに、ロータリアンの参加者が非常に少ない。せめて、各クラブの参加者が無い場合は、登録料くらいは協力して欲しい」と訴えておられます。この点についてクラブ会長さんのご協力・ご支援を切にお願い申し上げます。また、本地区では、ローターアクトが 13 クラブ、インターアクトが 12 クラブあり、それぞれ特に会員増強に腐心しています。各クラブの会員増強共々、宜しくお願い致します。

今年度の地区重点事業として「日本の心の教育」を取り上げています。私たちロータリアンが人生で果たせなかった夢を、若者達から「夢をかたちに」してもらうためにも積極的な応援をお願い致します。



新世代奉仕委員長 メッセージ

## 次世代を担う青少年へのメッセージ



新世代奉仕委員長 岩崎 由三（長岡東 RC）

最近夢を持っている青少年が少なくなりました！色んな事に対し関心が薄く冷めた若者が都会や地方に関係無く年々増えています。確かに夢を抱く事が難しい時代だと思います。環境破壊、短期雇用・派遣労働者の増大や社会保障制度への不安等、数えればきりが無いほど不安要素が多く存在します。

しかし、若者は可能性を多く秘めている原石です。不安を吹き飛ばす意外性や元気を見せてくれたりするのも若者ではないでしょうか！その次世代の青少年に関心や理解を持たない人は性別・年齢を問わず否定をする人は少ないと思います。

ロータリーは奉仕の理想を掲げ色んな分野で永年にわたり活動して参りました。最近では厳しい経済情勢からかロータリー会員の減少に歯止めが効かず、クラブは会員増強に追われて、委員会の活動はロータリー財団・米山奨学委員会が地区から示される金銭的貢献が活動の中心で、時間の掛かる人的貢献には消極的なクラブが増えて来ました。一部のクラブに於いては関心の低い委員会は地区協議会での参加にとどまり、その後の委員会活動に参加も少ない。その結果、委員会の動きや内容がクラブに伝わらないまま次年度に引き継がれておるのが現状です！残念なことに新世代奉仕委員会もその傾向にあります！新世代奉仕委員会はインターアクト・ローターアクト・ライラ委員会の 3 委員会組織されています。地区内にインターアクトクラブは 12 クラブ（提唱 1 1 RC）・ローターアクトは 13 クラブ（提唱 1 3 RC）で活動しております。インターアクトクラブ・ローターアクトクラブではロータリークラブ以上に会員の減少に歯止めが効きません！特にローターアクトは深刻です！クラブの活動休止や解散も考えられるクラブが多く存在します。提唱クラブだけの努力だけでは問題解決は難しく、分区内の未提唱クラブも積極的に提唱クラブへ協力をお願い致します。またライラはインターアクトやローターアクトクラブを提唱していないクラブが、新世代奉仕活動に触れる唯一の機会です。参加をされて次世代の青少年と一緒に感動を共有してみませんか？ 9月 27 日～28 日開催のライラ研修に、今年は全クラブの参加・登録（代理出席でも可）を是非して下さい。新世代奉仕委員会だけでは問題解決はできません！全てのロータリアンが新世代プログラムに参加、又は間接的にでも参加して私たちの地域の未来を背負う次世代の青少年にメッセージを発信して下さい！



## インターアクトってなにをしているの？



インターアクト委員長 林 健晴 (高田東 RC)

インターアクトってなにをしているの？質問が会員から聞かれます。やはりインターアクトクラブを持たないロータリークラブは関心が薄いのかもかもしれません。

そこでインターアクトとは、インターナショナル・アクションの縮小したもので、14歳から18歳までの青少年に、国際理解と奉仕に貢献し活動する機会を青少年に与えることとあります。

委員会の主な活動は、一つに夏休みに行われる年次大会であり今年も2008年7月26～27日に関根学園高等学校をホスト校に県内12校の学生70名顧問教師、ロータリアンを含め総勢140名で「ふるさとを元気にするために行動しよう」をテーマにアクターが民泊しかつ民泊先の農作業を手伝う経験をしました。

二つ目は、お正月休みに足りなくなる血液をお願いする年末献血のお願い。

三つ目は、第2840地区合同で台湾の高校生との交換交流です。8年前群馬県と同一地区であった時からの継続行事で2009年3月にて17回目を数え、生徒数30名前後で台湾三重中央RC、清傳高級商業職業学校へホームステイにてお世話になります。今度は4月に台湾の学生30名前後で日本に来られ、本年度は第2560地区が担当することになりました。このようにほとんどの行事が1年前から準備をしなければならないし、地区の補助金も限りがあり大変ですが、若いアクターとの交流が奉仕をする気力の源になっていることは間違いありません。又、高田東RCは、高校のインターアクトクラブを2校提唱しています。年次大会等行事を行うことでクラブ内が結束します。未提唱クラブの皆さん、インターアクトクラブを持ってみたいと思いませんか宜しくお願いします。



## アクト活動へのご支援のお願い

ローターアクト委員長 水野 雅夫 (長岡東 RC)



青少年育成と次代の指導者育成はロータリーの重要なテーマのひとつですが、ローターアクトクラブは、この実践のため国際ロータリーにより提唱された組織です。

ローターアクトクラブは職業を持つ社会人(学生も含む)により運営されており、アクター達は様々な就業環境の中、時間を工夫しながら「社会奉仕」、「国際奉仕」、「専門知識の開発」等の具体的な活動を通じ、地域社会の中で若者らしく元気に活動しています。

ローターアクト活動の現在の問題点をあげると、当2560地区に限りませんが会員の減少傾向が見られます。会員数が減少するとアクトの日常活動に支障が生じます。

そこでロータリアンの皆様には、ローターアクト活動へのご支援と、会員増強にご協力をいただきたいと思えます。

またローターアクトクラブは月2回程度の例会を基本としておりますが、ロータリアンも積極的に出席し(メーキャップになります)、アクト活動への理解を深めていただきたいと思えます。ロータリアンの出席により、アクターも活動にはり合いが生まれますし、ロータリアンとアクターの一体感も養われます。

会員増強につきましては、アクト自身も努力しておりますが、ロータリーの事業所の紹介による会員が多い現状ですので、各事業所の中で適任者を多く紹介していただきたいと思えます。また現アクト会員が所属している事業所に対してはアクト活動参加への理解とご協力をお願いいたします。

### 三條ローターアクトクラブから参加協力のお願い

日時 9月23日(火) 秋分の日 AM 6:30 集合 ~ 8時終了

集合場所 三條機械スタジアム第2駐車場

☂/☀ 雨天決行、その場合は雨具の用意をお願いいたします。

軍手、トングをお持ちの方はご持参ください。

——— ご協力宜しくお願いいたします ———

